

WHO ファクトシート

メジナ虫症（ギニア虫症）

Dracunculiasis (guinea-worm disease)

2018年4月25日

重要な事実

- ・メジナ虫症は、麻痺を引き起こす寄生虫性疾患のひとつであるが、2017年にはわずか30例が報告されているのみで、根絶間近となっている。
- ・この疾病は、通常、安全な飲料水源にほとんど又はまったくアクセスできない人々が、感染性のギニア虫幼虫を運ぶ寄生虫に感染した水ノミ(サイクロプス)の混じる淀んだ水を飲んだ時に感染する。
- ・1980年代半ばにこの疾患の流行のあった20カ国の内、2017年にはわずか2カ国のみで症例が報告されている。(チャド(15例)及びエチオピア(15例))
- ・感染が起きた時から、身体から成虫が出現してくるまでの伝染サイクルの完了には、10～14カ月の期間がかかる。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Dracunculiasis (guinea-worm disease) ファクトシート原文は [こちら](#)